

太田治子の 土曜美術館

—小説家と芸術家の愛—

- * 講師 * 作家 太田治子
- * 開講日 * 第1土曜日 13:30~15:00
- * 受講料 * 6ヵ月（6回）分 18,300円＋税
- * 持ち物 * 筆記用具



小説家と芸術家とは不思議なつながりがあります。司馬遼太郎のように絵を嗜む小説家もいれば、獅子文六のように舞台に情熱を注いだ小説家もいます。ここでは、そうした芸術家たちの心の結び付きについてお話ししたいと思います。10月から始まる6ヵ月講座です。

◆ 2020年10月～21年3月カリキュラム ◆

- 10月3日 「南フランスのゴッホ」
- 11月7日 「レンブラントと司馬遼太郎」
- 12月5日 「関根正二と今東光」
- 1月30日 「獅子文六と小説『娘と私』」
- 2月6日 「ドストエフスキーと二葉亭四迷」
- 3月6日 「漱石と越後の婿・松岡譲（ゆずる）」

※1月2日は休講日のため、1月30日に行います。

【講師プロフィール】太田治子（おおたはるこ）

神奈川県小田原市生まれ。明治学院大学英文科卒。1976～79年、NHK「日曜美術館」の司会アシスタントを務める。86年、『心映えの記』で坪田穰治文学賞受賞。主な著書に『母の万年筆』『私のヨーロッパ美術紀行』『絵の中の人生』『万里子の色鉛筆』『青い絵葉書』『恋する手』『夢さめみれば』『星はらはらと』など。

詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※受講料には維持管理費が含まれています。
※一部の講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。
※内容・日程は変更になる場合がございます。ご了承ください。
※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
※お申込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ
初めてご入会される方は、
別途登録料（500円＋税）が必要です。



名古屋・栄 中日文化センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F
〔10月5日以降〕名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7F
☎0120-53-8164
10:00～19:00（日曜日は17:00まで）